

研究に関するご協力をお願い

福島県立医科大学産科婦人科学講座では、本学倫理審査委員会の承認を得て、下記の研究を実施します。本学における診療情報の利用について、関係する皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

2025 年 9 月

福島県立医科大学産科婦人科学講座 添田 周

■ 研究課題名

婦人科がんの診断・治療に有用なバイオマーカーの開発

■ 研究期間

2025 年 9 月 ～ 2029 年 3 月

■ 研究の目的・意義

婦人科がん(卵巣がん、子宮体がん、子宮頸がん)において、できるだけ患者さんに負担をかけずに早期に発見し、治療を開始する試みが長い間行われてきました。中でもがん患者さんを鑑別する目的で、血液の中に含まれる腫瘍マーカーと呼ばれるタンパク質を用いた検査が行われています。しかしながら今のところ、全ての方を間違いなく婦人科がんと診断できるタンパク質は見つかっていません。

私たちはこれまで、様々な患者さんの血液やがん組織に含まれるタンパク質を全て同定する方法を用いて、診断に役立つタンパク質、予後を予測できるタンパク質、治療に有用なタンパク質などを見つけてきました。この研究は婦人科がんの早期診断・治療標的として有用であるタンパク質を探すことを目的としています。そのために、すでに収集されたホルマリン固定パラフィン包埋組織を研究に用います。

この研究が達成され新しい画期的なタンパク質が見つかった場合、予後が悪いと予測される方に対しては積極的な治療を行い、一方で予後が良いと判断される方に対しては治療をせずに経過観察をするなど、一人一人に合わせた最適な治療法を提案することができます。

■ 研究対象となる方

① 2003 年 1 月～2024 年 3 月の期間において福島県立医科大学附属病院で婦人科がん(子宮体がん、子宮頸がん、及び卵巣がん)、及び良性腫瘍性病変または前がん病変と考えられている子宮内膜増殖症、子宮頸部上皮内腫瘍形成(頸部上皮異形成; cervical intraepithelial neoplasia; CIN)、及

び卵巣良性腫瘍あるいは卵巣境界悪性腫瘍に対する手術治療が施行され、その病理組織標本が保存されている方。

② 2003 年 1 月～2024 年 3 月の期間において福島県立医科大学附属病院で病理解剖が実施され、その病理組織標本が保存されている方

を対象とします。

目標症例数は全体で 1160 例です。内訳としては婦人科がん症例：900 例、婦人科良性疾患症例：200 例、病理解剖症例：60 例です。

■ 研究の方法

私たちが見つけたタンパク質に対する抗体を用い、患者さんの手術標本を染色します。その結果と、手術時の進行期や患者さんの生存期間とを照らし合わせて統計解析し、マーカーとしての有用性を検証します。また前がん病変や正常組織における目的分子の分布を評価するため、良性腫瘍性病変または前がん病変の手術症例や解剖症例の臓器を同様に染色して評価します。

■ 試料・情報の利用を開始する予定日

2025 年 10 月 1 日

■ 研究組織

この研究の研究事務局は福島県立医科大学医学部産科婦人科学講座であり、研究責任者は産科婦人科学講座 添田 周です。集められた情報の管理責任者は福島県立医科大学学長 鈴木 弘行であり、それらの情報は福島県立医科大学医学部産科婦人科学講座で利用し解析を行います。

研究機関・責任者

福島県立医科大学医学部産科婦人科学 教授 添田 周

既存試料・情報の提供のみを行う機関

いわき市医療センター産婦人科 教授 本多 つよし

■他の機関などへの試料・情報の提供について

該当はありません。

■ この研究に関する問い合わせ

この研究に関して質問などございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象の方の個人情報や知的財産の保護などに支障がない範囲で、研究計画書や研究方法に関する資料が閲覧できます。

また、試料・情報がこの研究に利用されることについて、研究対象者ご本人または代理の方にご了承いただけない場合は、研究対象者とはせずに試料・情報の利用はいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人または代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果がすでに医療系雑誌への掲載や学会発表がなされている場合は、データを取り消すことは困難な場合もあります。

問い合わせ先

〒960-1295 福島県福島市光が丘 1 番地

公立大学法人福島県立医科大学医学部産科婦人科学講座 担当：藤森 実杜

電話：024-547-1290